

H30年度 企業版ふるさと納税を財源とした事業 評価・検証シート

事業名	桜に彩られたまちづくり事業
事業区分	観光産業の振興
計画・実施年度	平成28年度～令和元年度

●KPIの設定数値

KPI	4月、5月の外国人観光客の宿泊人泊数	(基準値※)H28	H29	H30	R1	R2
		4,151	4,300	4,500	4,800	5,200

●KPIに対する実績評価

※27年数値を使用

KPI	4月、5月の外国人観光客の宿泊人泊数	(基準値※)H28	H29実績	H30実績	R1実績	R2
		4,151	4,348	5,389	5,750	
目標数値に対する達成率			101.12%	119.76%	119.79%	

●事業の実施状況

※27年数値を使用

(単位:円)

具体的施策	担当課	実施年度	事業費	財源内訳	
				寄附金(企業版ふるさと納税)	一般財源
1 桜天然記念物外国語表示看板制作委託	文化財課	平成28年度	216,000		
2 桜天然記念物外国語表示看板 樺細工枠製作委託	文化財課		30,000		
3 桜天然記念物外国語表示看板 設置工事	文化財課		588,600		
4 桧木内川堤右岸側桜整枝作業委託	文化財課		464,400		
5 国際観光宣伝・誘客事業(タイ国際旅行博プロモーション事業)	農山村体験デザイン室		168,280		
事業費計			1,467,280	1,000,000	467,280

●平成29年度実績

1 国際観光宣伝・誘客事業(タイ国際旅行博プロモーション事業)	国際交流推進室	平成29年度	1,103,880		
2 古城山公園桜植樹業務委託	建設課		1,296,000		
事業費計			2,399,880	1,600,000	799,880

●平成30年度実績

1 国際観光宣伝・誘客事業(台湾国際旅行博プロモーション事業)	国際交流推進室	平成30年度	795,397		
2 市内公園等桜植樹業務委託	建設課		1,134,000		
事業費計			1,929,397	1,000,000	929,397

●今後の計画(R1年度は予算レベル)

1 国際観光宣伝・誘客事業(タイプロモーション事業)	国際交流推進室	令和元年度	2,000,000		
事業費計			2,000,000	1,000,000	1,000,000

●具体的施策に対するPDCA

○取り組み内容(Plan)*30年度

長期間にわたり桜の開花を楽しめるよう、開花時期が異なる複数の品種の桜を公園等に植樹すると共に、外国人観光客の増加を視野に入れた集客活動、PR活動を行った。

○どのような施策を実施したか(Do)*30年度

1 国際観光宣伝・誘客事業(台湾国際旅行博プロモーション事業)
 12/14～12/16の期間、台湾の国際旅行博に参加。本イベントは東北に焦点をあてた旅行博だったこともあり、田沢湖や角館に訪れたことがある、あるいはこれから旅行に行くという方が多く、仙北市の認知度は高かった。ブースに訪れた方の中でも、乳頭温泉への行き方、田沢湖に行くバス時間、角館駅から武家屋敷への行き方など、具体的な問い合わせも多かった。
 また、本年度事業で作成した海外向けプロモーション映像をブース内で流し、SNSでの拡散も併せて行ったことで、フェイスブックでの再生回数が増加した。会場に訪れなかった方にも拡散できたと考えられ、仙北市の認知度をさらに向上させることができたと考えられる。

2 古城山公園桜植樹
 10月末から11月にかけてベニヤマザクラ7本、カンザン3本を植樹。角館地域運営体もボランティアとして参加していただき、保全活動も兼ねた取り組みを実施した。

○結果をどう分析するか(Check)*30年度

国際観光宣伝・誘客事業(台湾国際旅行博プロモーション事業)について、今回は仙北市単独でブースを出展したが、東北に焦点をあてた旅行博における仙北市の認知度は比較的高いことから、今後は仙北市が単独でブース出展するより、秋田県ブースと一緒にPR活動を行った方がより費用対効果があると思われる。

桜の新規植樹については、武家屋敷通りから北側一直線に見える古城山公園に植樹され、将来的に桜祭りに彩りを添えるものと想定される。地元角館地域運営体の協力もあり、植樹作業をしていただいた方の記念プレートが樹木に設置するなど、市内外から興味をもっていただけるような趣向が凝らされている。

○どうすればより効果が得られるのか(Action)

海外旅行に興味がある外国人が集まる国際旅行博などへの参加を継続し、集客活動、PR活動を続けるとともに、観光客のターゲットを明確にした分析を重ね、しっかりと訴求していくことが必要。加えて、国際交流推進室が実施するデジタルマーケティング事業で作成した動画をより効果的に利用し、インバウンド客へ仙北市をPRする。

桜に関しては、観光部署や民間との連携を持続し、夜桜のライトアップや観劇イベントなどを実施することで、夜の賑わいを創出する。さらに、開花時期の異なる数種類の桜を適宜新植し、新たな桜の見所をつくる。地域運営体をはじめとした市民の協力を得て、樹木の維持管理を継続すると共に関係人口を増やす。

有識者会議による検証・評価	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりの時期に古城山へ登って花見をする観光客が増えている。古城山の整備は良い事だと思う。 ・プロモーション事業で仙北市の紹介をSNSでしているようだが、ハッシュタグの使い方についてもう少し改善が必要。 ・角館の桜が終わっても、田沢湖下高野の桜が満開であることをPRするべき。下高野から高原までの桜が「全国から貰った桜」であることを示す看板を設置すれば、観光客が関心を持つと思う。さらにスポーツセンターの下辺りまでは今後も植樹ができるだろう。 ・角館駅前に駐車場があれば、桜並木駐車場に車を置くよりも町を歩く時間が長くなることで経済効果が高まると思う。
	○
評価	◎取組の深化・発展 △取組の見直し
	○取組内容の継続 ×取組の中止・終了